平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 日

		_	_			1 770	-	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	 _
評価対象事業				評価者	駅周辺整備課長		宇髙	毅	
まち-06	実施事業	大船駅東口再開発運営事		自治事務	主管課	駅周辺整備課(科	手開発課)		
		業(特別会計)		去定受託事務	関連課				
総合計画上の 位置付け	分野	市街地整備		施策の方針	市街地整備	帯の推進			

1 事業の目的

2 平成29年度に実施した事業の概要

村 市民等

意 大船駅東口駅前の円滑な交通機能の確保、市民等の利便性と安 室 全性の向上を図るため。

効 土地の計画的な高度利用と都市基盤施設の整備等を図ることにより、災害 に強く、快適で利便性の高い大船駅東口の市街地を創出する。 ・再開発事業を推進するために必要な予算の執行管理等の業務を行った。

3 事業費等基礎データ

-	A De al estate a	•		_		
一人	データ区分	28年度決算	29年度決算	データ区分	30年度当初予算	備考
データの	人口	176,869人	176,466人	人口	176,308人	•各年3月31日
	世帯数	80,928世帯	81,150世帯	世帯数	81,763世帯	(住民基本台帳)
	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	1,629	1,598	当初予算(千円)	1,739	
運	国県支出金			国県支出金		
営資源状況	地方債			地方債		
	その他			その他		
	一般財源	1,629	1,598	一般財源	1,739	
	人員配置数	1.1	0.8	人員配置数	0.3	
	人 件 費(千円)	8,250	6,097	人 件 費(千円)	2,320	
番 経業 費運	総事業費(千円)	9,879	7,695	総事業費(千円)	4,059	
	市民1人当りの 経費(円)	56	44	市民1人当りの 経費(円)	23	
	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

4	評	而結!	Į

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

4 計1	山和 术			平江」女马庄」有劝注」:	な十注」協関」については、フルダウンで選択。			
効 率 性	事業費に削減余地はないか		2. ない					
劝辛日	関連・類似事業との統合はできないか		3. 統合できない					
	事業の実施に対する市民ニーズはある	るか	3. 変わらずにある					
妥 当性	事業の廃止・休止による市民生活への影	/響は大きいか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある					
	今後も市が実施すべき事業か		5. 豊かフ	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある				
有 効 性	事業の成果は得られているか		2. 成果	は概ね出ているが、更なるタ	努力は必要である			
TH XII II	事業の上位施策に向けた貢献度は大	きいか	3. 事業(の方向性や手法は概ね適り	刃であり、一定程度貢献している			
公 平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受	益者が特定できないため、	受益者負担を求めることができない			
			△-2. 🕏	「民等と協働して事業を実施	 をすることはできない			
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施		施済の場合のパートナー				
			伽助天	167月 0万2数 日 0万7 V 1-7				
	□ a:事業内容を見直す ⇒	<mark>見</mark> □ 拡大	9					
事業内容の方	■ b:事業内容は現状通りとする	<mark>種直</mark> 類し □ 縮小	内面 容し	<u> </u>				
向性	□ c:事業を休止又は廃止する	の □ その	他					
	□ d:他事業と統合し、本事業は廃止	:する =	⇒		事業へ統合			
予算規	□ A:予算規模を拡大する	事業内容•予						
模の方	■ B:予算規模は現状維持とする 算規模の方向			1 今後も適切な予算執行等を図るため、予算規模は現状維持とする。				
向性	□ C:予算規模を縮小する	性設定の理由						
総評(評								
価に対	再開発事業に伴う必要な庶務であり、今後も市で実施していく必要がある。							
する考 え方、根	人のような国かる数はながも回するした		_ · `					
た 力、依								

平成29年度事業実施 にあたっての課題 (前年度未解決の事項 を含む)	.あたっての課題 ^ま 度未解決の事項									
課題解決のために行った平成29年度の取組	□ 解決 □ 一部解決 □ 未解決									
未解決の課題、新たな 課題とその理由 なし										
〇 他市比較・ベンチ	マーク(!	県内外自	治体など他	自治体や民間	団体との比較	交値)				
比較事項										
団体名										
/L + rh /#										
他市実績 ————										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										
◎ 事業実施に係る指	i標									
指標の内容						単位		標の 傾向	備考	
当該指標を設定した理	理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
		目標値								
		実績値							1	
		達成率								
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										